

ジェイアールバス東北本部

第6号

2021年9月3日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申 2 号 「JR東労組バス東北本部第34回定期委員会」の 発言に基づく申し入れについて

バス東北本部は7月15日に第34回定期委員会を開催し、全組合員で働きがいのある職場をつくり出していくことを確認し、圧倒的成功のもと終了することができました。

参加した組合員からは、昨年の古川営業所閉鎖や今年の秋田支店閉鎖による様々な施策に対して、泊り行路が増えたことでの負担や効率化を求めたダイヤによって安全が担保されているのかといった疑問点、業務移管による慣れない乗務で営業事故や運転事故が多発していることなど多くの発言がありました。

また、白沢・七北田の両受託事業所では、断続的に退職者が出ていることで慢性的な要員不足となっており、転勤や助勤等での要員確保が困難なほどにまで要員不足が深刻であるため、大変憂慮すべき問題だという発言もありました。

バス東北本部としては、新型コロナウイルス感染が収束しても以前と同じ利用客が見込めない状況を考えれば施策を否定するものではありません。しかし、施策を進める場合に、安全と健康を第一に考える姿勢は妥協しません。

「安全・安心・働きやすい・働きがい」のある職場と明るく活気ある職場をつくり出すため、9月1日に組合員の声を基に下記のとおり申し入れを行いました。

1. 白沢・七北田の両受託事業所の要員不足が深刻であることから対策を明らかにすること。
2. 労働条件を向上することにより人材流出を防ぐため、年間休日数を増やすこと。また受託事業所については受託加給の増額をすること。
3. ダイヤの作成については、職場の意見を取り入れ、安全と健康を第一に考えて作成すること。
4. 乗務員の負担軽減のために、2泊以上の泊り行路の最終日については、早めの退勤となるような行路とすること。また、昼行便と夜行便の組み合わせ行路についても同様に配慮すること。
5. 乗務員連続勤務手当の支給範囲拡大を検討すること。
6. 経路間違いの営業事故が多発していることから、訓練期間や見習い期間については、経路に不安のある社員に対し、十分な配慮をして期間を延長するなどの対応をすること。
7. 列車代行要請があった場合の乗務員確保については呼び出しの上、予備勤務扱いとすること。
8. バスタ新宿到着後の乗務員交代について、回送による経費削減や事故等のリスク軽減の観点から、JRバス関東会社が管理する代々木のバス待機所の利用を検討すること。
9. プロパー社員の永年勤続表彰においては、契約社員の年数も加算すること。

**諸問題解決に向け職場運動を強化し
安全・健康働きがいのある職場をつくり出そう！**